

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 3 月 21 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270201280		
法人名	社会福祉法人 葉港会		
事業所名	グループホーム春日スプリングガーデン		
所在地	佐世保市春日町716-8		
自己評価作成日	平成24年3月3日	評価結果市町受理日	平成24年3月29日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七		
訪問調査日	平成 24 年 3 月 14 日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「太陽と音楽と香り語りを」を法人の理念とし、いつも明るく、楽しく笑顔の絶えない暮らしをしています。お客様が地域の中で健康で幸福な安心と信頼にあふれる生活を支えるために支援しています。地域の老人会の方とも定期的に交流があります。いつまでも若く美しく健康に暮らせるように、敬老の日にはステイヤングパーティーを開催しています。当事業所のみのお客様だけでなく、併設の支援ハウス入居者の方や、デイサービスご利用の方とも自由に交流ができるようにしています。一人一人の時間に合わせてゆっくりとした生活をしてもらいたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

当該事業所の全職員が、利用者は『自分の身近な人』との思いを念頭に、利用者が本当に望む事とは何かを常に意識したケアが行われている。理事長のリーダーシップの下、施設長、管理者、職員夫々の関係が良好であるため、利用者への接し方にも温か味があり和やかな雰囲気のあるホームである。利用者にとって法人が一体となった支援体制が確立しており、家族にとっても安心感のある事業所であり、老人会等を通して地域とも交流がある。フォーマル、インフォーマルな関わりを活用し柔軟な支援活動が行われており、今後の取り組みが期待される事業所である。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「太陽と音楽と香りと語らいを」を基本理念とし、朝礼の時に唱和し、理念を通して介護への意識付けを行なっている。	理念を毎朝全員で唱和し、事業所にも見える場所に掲げ、再確認を行っている。理事長は定例会等機会あるごとに理念に沿った思いを語っている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域住民の方々とは開設前より交流があり、町内会にも入会している。	毎年、地区老人会に招待され利用者と共に出向いている。理事長は地域の要望を受け認知症、介護保険に関する講話に出掛けられている。また、地域に向け介護教室も定期的開催されており、20名程度の地域の方の参加があっている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内老人会の行事に参加したり、介護教室での認知症の講演を行い、認知症についての理解をしていただけるように努力している。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価の結果を伝え、日常生活や行事について説明したり、包括支援センターの職員の方からも意見を聞いている。	出席の知見者から地域の高齢者世帯の現状の取組についてや、市担当者への質問や、市担当者からの後見人制度、地域のグループホームの現状等の情報提供もあり、様々な話が活発に話し合われている。	
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	必要に応じて包括支援センターや市役所へ連絡をして連携を図っている。また、地域ケア会議にも参加している。	地域包括支援センター主催の定期的会議への出席や、市の窓口担当者との書類持参訪問時の相談等、連携した相談活動がスムーズに行われている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束の研修などを通して職員の身体拘束の意識付けを行なっている。常に身体拘束をしない取り組みを行なっている。</p>	<p>外部研修受講後に内部研修を行い、職員間で拘束をしない支援の周知共有を行っている。スピーチロック等にもお互いに気付いた時点で話合っている。また、家族からリスク回避の為、拘束の希望があっても取組を説明し見守りにて対応する意向である。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>お客様の身体的な虐待だけでなく、精神的虐待にも十分に注意して言葉使いにも注意しています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>法人全体として理解できるように研修に行ったり、包括支援センターの社会福祉士の方からも成年後見人についての情報をいただいている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>お客様やご家族の理解が得られるように説明を行い、同意をいただいた上で署名と押印をいただいています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置してお客様やご家族の意見や苦情を汲み取れるようにしています。また、外部評価のアンケート結果も推進会議で話をしてしています。</p>	<p>日々のケアを通じて、思いの把握に努めている。口頭での意思表示が難しい利用者へは表情、筆談等工夫し支援している。家族の来所時や定期に発行するお便りで、家族の意向を把握し、支援に役立てている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>意見や提案があった場合には、随時報告して反映できる体制をとっています。</p>	<p>施設長と管理者を含めた職員との関係が良好で、その都度気づいた点は夫々の案件のレベルごとに関係者で話し合い解決している。最近では勤務体制についての検討会で職員の事情を考慮した取組が行われた。</p>	

12	<p>就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>専門の労務士と契約し、定期訪問により就業規則の整備を行なって、各自が向上心を持って勤務できるように、労務士と相談し、職場環境の条件や整備に努めています。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人として出来るかぎり外部へのへの研修に参加することを推奨しています。また、仕事をしながらヘルパー資格を取得できる体制である。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワーキングや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>法人には多種の事業があり、積極的に交流して情報共有することでサービスの質の向上に努めています。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>初回の面談では聞き出せない事も回数を重ねることで不安な事を聞き出す事ができる。後からトラブルにならるように契約時に十分注意している。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>面接や電話での話し合いを重ねたり、施設見学の折に家族の不安や思いを受け止める努力をしています。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>心から信頼していただけるように努め、必要に応じて他のサービス利用も視野に入れた対応をしています。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>昔の知識や得意分野を会話の中から探し出し、活躍の場面を作り、思い出の中の気持ちを共有している。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えたい関係を築いている</p>	<p>家族との連絡を行い、できるだけ多くの面会ができるように催しには参加してもらい、日常の様子などを随時報告している。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご家族との定期的な外出や、自宅への帰宅、ご友人の面会なども行い、馴染みの家族や親戚関係、ご友人のつながりが途切れないように支援しています。</p>	<p>キーパーソン以外の情報も収集し、申送りノート等に記録し、支援に役立てている。自宅への一時帰省の希望、思い出の場所などへの外出希望に、家族の協力も得ながら、関係が継続するよう支援している。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>お話相手になる方を隣の席にしたり、職員も含め皆で団欒できる環境を整えて、お互い支え合える関係構築に努めています。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>一度関わりを持ったお客様とはお付き合いを大切にし、引き続き相談できる体制を整えています。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>出来る限りご本人の意向を大切に、要望に応えるようにしています。日々の変化に注意してご家族からも必要に応じて情報を得ることによりお客様の意向を把握できるように努めています。</p>	<p>理事長の発案により毎月接遇の研修が行われており、利用者の目線に合わせた会話に心掛け、場面場面で思いの把握に努めている。表現が困難な利用者には表情の観察、筆記具の活用、家族への相談等工夫している。</p>	

24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご利用前にご家族から得た情報をもとに、お客様のご希望に沿った生活ができるように支援しています。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>職員がひとりひとりの様子をケース記録に書留め、申し送り等での情報共有により把握している。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>お客様が充実した生活が送れるように定期的に話し合い、ご家族からも意見を聞いて、職員同士でアイデアを出し合っている。</p>	<p>事前に本人、家族の希望を把握し、モニタリングにより評価を行い職員、計画作成責任者、管理者、状況により看護師も同席し、プランを作成している。利用者によっては主治医より居宅管理指導書の提出がある。</p>	<p>職員のレベルアップも兼ね、利用者個々のプランを日々の業務の中に反映するための、仕組みづくりに期待したい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日個別にケース記録をつけて状態変化について注意している。情報を共有して実践や介護計画の見直しに活かしています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>お客様やご家族の要望に合わせて柔軟に対応しています。歯科往診、訪問理美容も定期的に受けられるように支援しています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の老人会の方々と交流をもつようにしています。定期的に消防訓練も行い、火災にも備えています。皆様が安心して生活できるように努めています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>事業所の係つけ医の他、お客様やご家族の希望されるかかりつけ医があればご家族とも協力し、通院介助を行なっています。必要時には訪問診療も行なっています。</p>	<p>現在、利用者全員が提携医受診である。往診も定期的に行われており、通院については家族の協力を得ながら支援している。職員が通院支援時は都度家族に報告している。</p>	

31	<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員を配置し、常に状態変化や健康管理に応じた支援が行えるように配慮しています。近隣の協力医にも相談できる体制に努めています。</p>		
32	<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には職員がお見舞いへ行く等で医療機関からの情報を頂いたり、MSWさんがいれば連携を図るようにしています。ご家族とも話し合いながら、入退院の支援を行います。</p>		
33	12 <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>お客様やご家族の意向を大事にしながら職員同士で終末期について考え、協力医とも随時相談できる体制をとっています。</p>	<p>利用者の状況により協力医を交え、家族との継続した話し合いが行われている。職員には緊急時対応について常日頃より話し合っており、協力医、管理者等との連絡体制、同一敷地内の小規模多機能ホーム等との連携も確立している。</p>	<p>契約時に終末期に対する事業所方針の説明と家族への同意を戴く事で、家族への安心感を得る取組の検討を期待したい。</p>
34	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>看護師を中心に、急変時に備えて研修に行き、円滑な対応ができるように支援しています。</p>		
35	13 <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な消防訓練により災害時の対応が円滑にできるように支援しています。</p>	<p>年2回消防署立会いで、利用者も参加した訓練を実施している。緊急時の飲料水等の備蓄は現在、法人全体で検討中であり、持出用のファイルは個人毎に整備されている。</p>	

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報の取り扱いには十分配慮し、日常生活においても自尊心や、プライバシーを守るように職員の意識向上を図っています。	個人の情報はキャビネットにて管理している。入浴、排泄、衣服着脱等の場面では羞恥心に配慮した声掛けが行われている。全職員は、法人が外部委託したマナー研修を定期的受講され、利用者の人格、プライバシーの確保に繋がられている。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で希望を聞き、いくつかの選択肢の中から自分で決められる場面を作れるように努力しています。	
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはありますが、時間を区切った過ごし方はされないように努めています。体調に配慮しながらご本人の気持ちを尊重し、できるだけ個別性のある支援を心がけています。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1回は訪問理美容をご利用できるように支援したり、ご家族と一緒に美容室に行かれたりされています。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立や調理は厨房で行いますが、季節に合わせた行事食やメニューも豊富なのでとても楽しみにされています。お食事の形態にも配慮しており、誤嚥にも注意して職員と共に語りながら食事を摂るようにしています。	食事は外部委託の業者がホームから利用者の情報を受け、提供している。季節のメニューも随時提供している。また、希望のメニューや家族の差入れ品の活用等については、毎月開催の給食会議時に検討し、取入れている。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取は毎回服薬時にチェックし、食事量、内容、形態については、ご本人やご家族、主治医の意見を参考にしながら支援している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	必要に応じて歯科診療を頼んだり、口腔ケアを行ったりできます。食事後には歯磨きや義歯の手入れの支援を行なっています。	

43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>お客様ひとりひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導するようにしています。</p>	<p>排泄パターンを把握し、プライバシーに配慮した声かけや表情を観察し、トイレ誘導により、自立に向けた支援を行っている。夜間も見回りにて支援している。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>ひとりひとりの排泄パターンを調べ、水分補給や食事の内容にも気をつけて適切に排泄できるようにしています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>血圧測定や体温を測り、健康状態を見ながら、お客様の意向に沿えるように入浴を支援しています。</p>	<p>毎週2回、午前午後に分けての入浴であるが、状況により併設の事業所で別日の入浴も可能である。拒否される利用者には無理強いせず時間をおいて誘導をしている。入浴剤、季節に応じ菖蒲湯等楽しみながらの入浴が行われている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>なるべく日中の活動を促し、お客様の体調や生活リズムを整えるように努めています。また、個別に対応して休息できるように配慮しています。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬局からのお薬内容を確認して職員が把握できるようにしています。服薬確認も行っています。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>洗濯物たたみ等の簡単な作業があれば各自していただき、他の施設入居者とも交流され、レクリエーションや行事にも参加されている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>気候の良い時には散歩へでかけたり、花見をします。また、ご家族との外出や交流を大切にしています。</p>	<p>ホーム全体で年間行事計画を企てて季節ごとに花見、ドライブ、レストラン、ショッピングモール等機会を設け外出している。家族とも協議、連絡を密にし、利用者の希望に添える様工夫している。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご本人やご家族の意向により誰が金銭管理をするか決めています。ご家族と一緒に買い物もされる方もいますが、職員と買い物に出る機会があれば支援しています。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話の利用は常に可能であり、希望があれば随時支援しています。はがきや手紙のやり取りもされている方もいらっしゃるため、支援しています。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間には行事の写真を貼ったり、はり絵を貼ったりして心地よく過ごしていただける空間を提供できるように心がけています。</p>	<p>時計、写真等が見やすく掲示され、トイレやお風呂の場所も判りやすく表示されている。音、匂いなど五感を刺激する環境に配慮されており、入居者は思い思いにリビングや居室を行き来されている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ご本人の過ごしやすい環境でゆったりと過ごしていただけるように心がけています。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使い慣れた物を持ってきていただいたり、部屋の中に馴染みの物や好みの物を持ってきていただいている。	各居室は、朝の陽光が射し込み明るい作りとなっている。また、個人を尊重し各々の馴染みの家具、備品、寝具、仏壇等を持ち込まれ、壁には思い思いの写真が貼られる等、居心地の良い居室となっている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室に名前を貼る等の工夫をして、ご本人のできることはしていただいています。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない